

Voice コロナを恐れず、多面的で楽しいクリーンハイクを！！

自然保護委員長 澤村

今年のクリーンハイクの準備は、新型コロナにおびえることなく（油断するつもりではありませんが）、4月14日で大阪府を含む17の自治体へ協力要請文書の発送を無事終わりました。

そして2～3の自治体より行事名が去年：第50回・・・であったが、今年も第50回??との問い合わせがあり、「大阪は全国よりも1年早く開始したので、去年までは全国の回数よりプラス1でしたが、今年からはそのようなこだわりは止めて、全国と同じ回数とします」と回答すると、あっさり納得していただきました。

今年より全国のアピールと大阪労山の行事名は同じ回数です。ご安心ください。

毎年多くの山域から「ごみは少なくなった」と報告がありますが、自治体に提出した実施内容は

- ① 登山道を中心に空き缶などゴミの回収
- ② 一般登山者、ハイカーにゴミ持ち帰りの呼びかけ
- ③ 産業廃棄物等の不法投棄の調査
- ④ 自然環境の現状と問題点の調査

ですので、①だけではなく、②のため、クリーンハイクの腕章着用とか大きな袋を目立つように手に持つなど工夫してください。また、③は多く見られると思いますので注意して回収するなり、写真に収めて自治体に報告してください。私にそれらの情報を寄せていただければ、自治体に対する報告書に同封させていただきます。④は、数年前の台風被害の倒木が益々登山者の背丈に迫り頭突きしそうになっています。倒木ノコギリ処理あるいは赤布をたらし、頭突き防止処置など行ってください。その報告もお願いします。

久しぶりの大人数の集いとなりそうですので、会員拡大につながる工夫も行ってください。

山頂でザイルワークなどの訓練（デモンストレーション）などはいかがでしょう。